

THE GEO-SAFE-E FAMILY : ジオ・セーフE・家族

(バイオセーフ)：個人の寝室における、放射線フィールドの中和と、周波数が適合された電磁波の干渉抑圧

アヘン在住 ビルディング・バイオリジスト、ダウザー ディーター・シーファー

紹介

エネルギーフィールドでの研究と、健康とはいえない職場、寝室のクリーニング25年の経験より、私の仕事は今、ビルディング・バイオリジストのトレーニングと並び、36箇所のチェックポイントを用いて、患者のベッドの周りのエリアをテストする事が主である。それを行うことによって、私は、私と波長のあるセラピストと協力し、バイオ共振装置を用いて、体内のセラピー・ブロック放射線を中和している。

私は、全ての地球上の放射線、ベッド周りの無線周波数放射線と、全ての電気物質、金属物質の放射線フィールドを調査している。そして、部屋のどこで眠るのが一番良いか決定し、どの技術測定が採られるか、そしてキネシオロジーを用い、特別な場合と部屋の中の場所の放射線中和周波適合を検査し確認する。

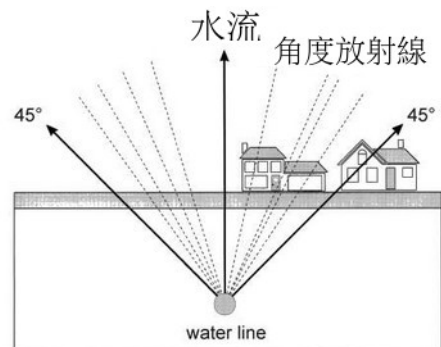
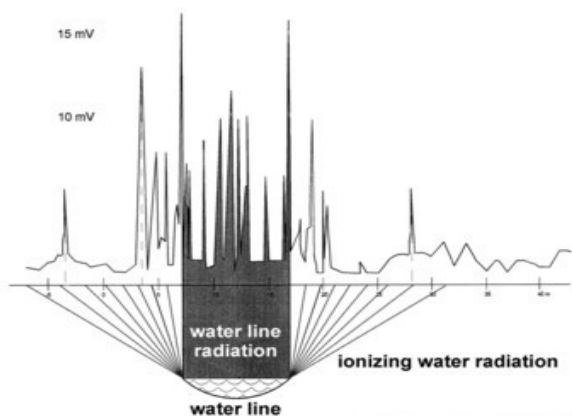
振動治療による見解より、患者の治療、ホメオパシー、バイオ共振セラピーの妨げになるのは何か？

地球放射線 / ジオパシー

「地球放射線」とは、たいてい否定的に解釈されるが、地球は人が必要なフィールドを肯定的に放っている。ジオパシーは、人に否定的に影響する、地球の変則の結果として起こる放射線である。

水流からの放射線、それらの磁気の特質を、水が地を通る時の抵抗によって生じる摩擦エネルギーからせき止める。

ほとんどのダウザーは、技術的に証明されていても、いまだにアングル放射線を無視している。水流の近くの寝室は、放射線から逃れられない。



地質断層は、地球の地殻のテクトニクス移動、地震、あるいは地下の炭鉱を通して生じる。断層によって放射されたエネルギーは、地球によって放たれた放射線で一番強い形のものである。このような断層は、場所によって変化するガンマ放射線も放射し、技術的に測定する事ができる。

また、私達は、グローバル・グリッド(ハートマン・グリッドとして知られる)、対角線ネットワーク(カリー・ラインとして知られる)、ベンカー・システム、そして他の地球上の変則のような、様々なグリッド・システムを考慮している。

電磁波スモッグ

自然に生じる磁場に加え、振動治療は、自身で組織された電磁気と電場ブロックセラピーを信じる。ベッドの側や、ベッドの置かれた壁の反対側(すなわち隣人の部屋)に、電気目覚まし時計、テレビ、ハイファイ・システムが置かれていると、ストレスの原因になる。地球の結合の張力、住宅の水道管や暖房システムは、頻繁に部屋に測定可能な磁場をもたらす。さらに、舗道に埋められた電力ケーブルからの電場、街灯、鉄道、そして高圧電線は、幾分か離れていても、ベッド周りの場所によく影響する。しかし稀に、ベッドの側の、絶縁スイッチが、状況を救ってくれる事もある。

最近では、若者の部屋は、ハイテク研究所のようなものだ。夜、寝室を放射線に曝すだけでなく、部屋にある、全てのコンピューターや電気製品が、若者達の免疫システムに悪影響を及ぼしている。寝室として、別の部屋があるというのは、かなり稀な為、ここでの唯一の解決策は、周波適合放射線の中和である。

職場においても、同じ事がいえる。そこで、私達は、熱を放射する多くの設備や、コピー機、床下の電圧ケーブルを、そして、しばしば、適切でない電気システムを、頻繁に見つける事ができる。共にそれらは、一日中、数100nT、数100mVの「放射線発射」をし、それは、たった70mVで作用する人間の神経システムに影響し、血液の鉄分含有量が磁気に反応し、体内の水分のクラスター構造にも影響する。その過程において、人間の体は、ネガティブ攻撃に遭うだけでなく、この放射線から体を守るためにエネルギーを消費する。

これらの理由によって、ベッド周辺だけでなく、職場でも、干渉が、各状況において、周波適合で抑圧されなければならない。これは、周波適合セラピーのセラピー部屋には特に重要である。そこは、影響を及ぼすエネルギーによって操られてはいけない。私達は、GEOSAFE-E(ジオセーフ)で、ここでもすばらしい結果を得ている。

無線周波数放射線

もう一つの考えるべき放射線要因は、無線周波放射線である。ベッドのマットレスのスプリングが、放射線を受信する多くのアンテナになり、私達の体がそれに共鳴すること以外でも、パルス放射電波や携帯電話無線鉄塔から逃げられない。

手軽なコードレス電話は、パルス・モードで操作されており、受話器(または、受送信機という)を頭のすぐ横に持つだけでなく、コードレス無線局を自分の家に設置していることにより、放射線を強めている。さらに、この無線局は、ベッドに設置されている。結果、コードの繋がった電話のみを使用するのが良しとされるが、人気がなくなり、ぎこちなく感じるかもしれない。しかし、携帯電話や、コードレス電話からの干渉を抑圧するのは、確実に重要である。

マイクロ波もまた、高周波範囲である。その磁場で、それらは摩擦エネルギーを使いながら、瞬間に柱に置き換える事によって、互いの細胞を熱している。私達の見解では、健康的な食生活と矛盾している。

どのような新発展があるのか。

現代社会では、以前の自然を変化させる、新しいテクノロジー装置が、常に市場に出現する。次の大きなステップは、新しいユニバーサル・モバイル電話システム無線周波(UMTS)。現在立てられた、20,000余りの高周波無線アンテナが5年以内に、60,000程に増加する。

よって、私達は、周波適合放射線中和装置(GEOSAFE-EとGEOSAFE E)を再適応させなくてはならない。私達の患者の寝室を、上記の理由だけではなく、地震が新しい地質断層を作り、それが水流を変動させるので、5年毎に寝室を再検査するよう、勧めている。

どのようにして、この事を患者に説明するか。

私は、患者や、このような事を信じない、彼らの懐疑的なパートナーを相手に、今までの「その場」での経験により、いくつか自身の説明基準を発達させてきた。医学的にそれ程完璧ではなく、物理的に、それ程論理だっておらず、生化学的にあまり正しくはないが、ほとんどの人に、簡単に理解できる。

これらのその場での説明を、懐疑的な人に、どのようにして変化、干渉抑圧気の有無で、強度に違いが出るか、聴覚視覚テストで技術的な測定して、私の理論をバックアップする。このようにして、患者に私の指示に続き、結果をもたらす事に、いつも成功している。ここに、手短な例を説明する。

(ここより、L.ワイデルの著書、“Strahlungsfelder[電場]の挿絵を用いる)

1. なぜこれが共通知識ではないのか？

全ての言葉には、起源がある。ドイツ語の“GEHEIM”(秘密)は、“geh Heim”(家に帰る)から来ている。これは、皆が特別な事について知っている訳ではない、という事を意味する。

全ての古代ケルトのエネルギーポイントと、全ての古い教会とモスクは、地球の磁力のポイントに建てられた。人々は、微々の肯定的生物エネルギー充電に気づき、聖職者は、集中的な振動でこれらの場のために、隠れてそれを利用し、精神的エネルギーを強めた。これは、ロッド・ダウジングで発見され、ダウジング、一般的にマジックとして位置づけられ、教会によって表面上は禁止された。よって、教会は、この古代秘密知識について、決して口にすることはなかった。

今日においても、この知識を公にする気のない、多くの社会的グループが存在する。

2. どのようにして、体は磁気に応答するか？

全ての個人は、数個の爪を作るのに十分な鉄分を、血液中に持っている。もし、磁石によって、充分な量の鉄の詰め物を置き換えたとしたら、私達はどのように鉄分が磁気に応答するか分かる。そして、同じような事が体に起こる。

もし、私達の血液分子が、結果として一緒に集合しているならば、血液が流れるのは難しく、また、酸素と結合する能力を失う。体は、あらゆる病気とこれに反応する。

3. どのようにして、電気衝動に応答するか？

全ての体の機能は、細胞同士のコミュニケーションも含み、電気衝動に基づいている。例えば、視覚の色認識。私達は、色を見るのではなく、違った波長が様々なものに反射した光波によって見える。これらが目に当たり、電気衝動に転換し、完全に弱い電気衝動によって脳に届く。もし、私達の生物電気腺システムがその中に放射線干渉を得たなら、体内で、「不適當な命令」として、論理的に反応する。

ビオ共振セラピーは、体内の干渉放射線を正常化し、成果を収めている。しかし、もし、治療を受けた患者が、再び放射線にさらされたベッドに横たわれれば、セラピーは無意味になる。

(この例を患者にコピーして渡しても良い)

放射線ストレスで、不成功で終わっているビオ共振セラピストを変える患者が軽視されているという事に、私は度々遭遇する。次のセラピストが、寝室周りの放射線ストレスを検査し、それを除去すれば、セラピーは成果をもたらす。

放射線フィールドが、どの繊細なセラピーの妨げになる事は避けられない事実で、それはビオ共振セラピーにも言える事である。

放射線から逃れられないのならば、どうしたら良いのか。

私の「干渉抑圧機」での経験では、過去10年以上、あらゆる可能性のある干渉抑圧機で検査し、いつも他のビルディング・バイオリジストに「抑圧」されて帰宅した。しかし、セラピストは、体内の様々な形の放射線を検出し、私自身の経験が、次の結論をもたらした。

色々なベッドの下敷きマットレスもまた、肯定的な地球放射線を取り除く。コルク、銅、あるいは、特別な繊維の原料のカバーは、単独で、水流からの放射線を吸収し、割合短時間で飽和される。よって、それらはすぐに、「干渉マットレス」となる。いくつかの生産者は、この事に気づき、放射線を、家屋のアース接地線や、熱システムへ転換させる。しかし、それらのマットレスを、技術器具で測定した場合、まだ、マットレスに磁場が測定される、という事は、アース接地線によって、磁場が完全に取り除かれた訳ではない、という事である。よって、全てのマットレスが、電磁スモッグや無線周波放射線から、私達を守ってくれる訳ではない。

磁気マットレスは、自然フィールドを歪める。試しに、その上にコンパスを置いてみると良い。180度の南北の磁針の自差が、5cm以下しか離れていないという事に気づく。それは、自然なのか？

シルバー繊維が、高周波を遮断するという、技術的な証拠がある。しかし、これはキネジオロジー的に検査され、全ての肯定的な宇宙放射線をも止めてしまうという点で、個人のシステムが損なわれる。

それに加え、多くの技術装置、ピラミッドシステム、その他のデザインも存在する。これら全てのものは、ある程度まで効果的だが、いつも変化のない、あらゆる意味で周波適合されていない、人口フィールドの物である。どの放射線混合を、どの放射線フィールドを各家で生産しているか、どのようにして、生産者が知る事ができるのか。同じ組み合わせの振動で、全ての障害を治療する事ができるのか。

ある程度までしか効果がなくても、助けは助けであり、感謝されるものだ。私は、この方法でやってきた。より良いものを知るまでは。

周波適合放射線中和

無線周波、電磁気スモッグ、あるいは水流からの干渉放射線は、異なった波長を表し、異なった構成要素と強度を通して放射線を引き起こし、全ての干渉放射線は、患者が眠る場所で、全く異なった構成要素を持つ。論理的結果として、放射線中和は、各ベッドの場合に適応させる必要がある。

(

ゼイス会社の眼鏡部署)は、それぞれのクリスタルが、異なった構造を持つという事を発見した。よって、それぞれ異なった結晶構造は、磁針の屈折角度で、異なった波長を屈折させる。私は、カットされたガラスの欠片を用い、太陽光線で虹を作り、患者に論証する。

秘儀は、ローズクォーツで、コンピューターにおいての干渉を抑圧すると言う。しかし、ローズクォーツは、結晶構造をたった一つしか持たないので、一つの波長しか対応できない。しかし、今私も使用しているのだが、コンピューターは、いくつかの波長を生み出し、私達は、幅広い範囲の角度の屈折が必要になる。なぜなら、音楽は、トライアングルだけでは作れず、オーケストラの代わりになるなんて、無理だからだ。

私達の方法

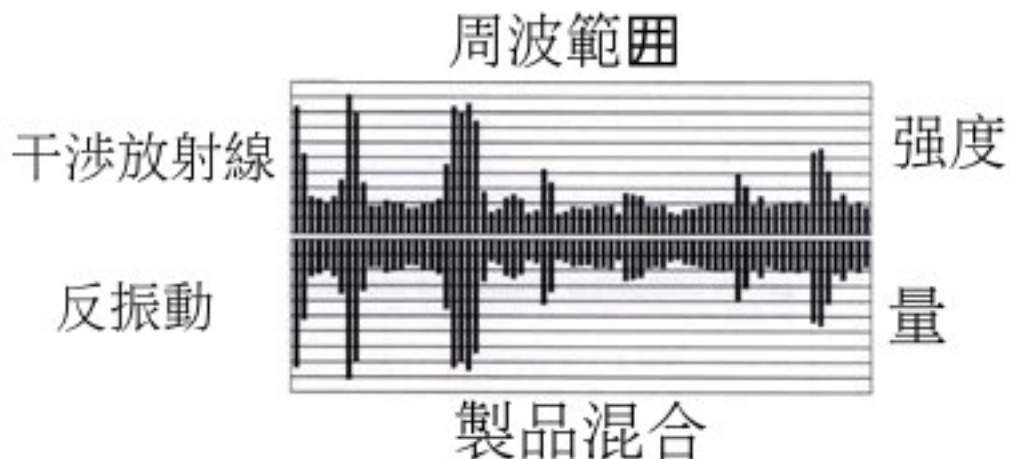
それは、私の真実ではなく、患者が眠る場所で重要な真実である。患者を検査、確認し、干渉を抑圧したら、患者にキネジオロジーを用い、その場で周波適合対振動の、適切な調合で働きかける。これを用いて、最適な場所を見極める。

患者に「寝室場所薬」は作らないが、眠る人は関係なく、放射線によって影響を受けた場所を中和させる。

この方法は、屈折の異なった物理的角度で、20を超える自然物質の結合により作用する。(干渉放射線 下記グラフ参照)

抑圧は、周波範囲(物質)、強度(物質)、そしてベッドの最適の場所を決定することによって、最良の結果をもたらす。物質が充電されるのを防ぐために、その混合に、浄化石と遮断しない石を加える必要がある。これらの変異する混合物を、私達は、GEOSAFE E (ジオセーフ)と呼ぶ。それは、20のバリエーションがある。また、材料検査セットを用い、その場で個人の調合を準備する事ができる。

ベッドを動かすだけで、100%放射線から安全な眠る場所を見つけるというのは、いつも可能ではないが(氷角度放射線、無線周波放射線、隣家の磁場など)、それでも、この方法で、患者の眠る全ての場所の干渉を抑圧することは可能であり、肯定的生命エネルギーの要求される6500から7000ボヴィス・ユニット(物理学者ボヴィスにちなんで名づけられた、生命振動ユニット)が作り出される。その場での、気(風水)も、個人に適したエネルギー・ポイントにおいて、この原理を用い、ある量まで増加させる事ができる。



電磁場と無線周波放射線は、「逃げ出して」はくれない。よって、干渉抑圧後でさえも、技術設備で、空気の中にまだ、測定する事ができるが、それらはもう、バイオ共振、電気針治療、血液検査、あるいは、バイオセンサーやキネシオロジーによってでも、医学的に体内で検出される事はない。この抑圧は、時間が経てば消されてしまう情報に基づくものではなく、物理原理によって、末永い効果をもたらすものである。

初期悪化が起こった場合

私達が、バイオ・エネルギー的にベッド周りを変化させた時、90%の人々が、数日内に良く眠れるようになり、朝気分良く起きられるようになる。10%の人々は、エネルギーの変化を感じ、体内細胞が夜間のもがきに慣れようとして、初期悪化を経験する。そのような場合は、私達は、すぐにBICOMセラピーを遂行するように進め、最初の数日間、ベッドからボールを離すようアドバイスする。

ロバート・フォーストによるキネシオロジー適応、VAK-Verlag 1998年からの引用

「ポップ教授は、物理的に測定できないエネルギーのフィールドの威力を考慮する。彼はまた、このタイプのエネルギー用の洗練された測定装置を発達させた。教授は、体に影響のあるホメオパシー治療法や、エッセンス、希少石などのような物質の周りの測定できる電磁場はない、と信じている。その効果は、可能性として、「エコー」現象の一種によって生じるとも信じている。それによって、人間の体の電磁場は、波長に反映して飛ぶコウモリによって伝達される、超音波信号のように作用する。あらゆる電磁場は、体で肌の接触におく治療法を通して通過し、不変で体に戻る。この繰り返す電磁場は、治療法に特に情報を含んでいる可能性がある。体を通してより遠くに振動する基本的な物質内で変化をもたらし、筋肉検査によって気づいた変化をも引き起こす。」

(バイオセーフ)



セラピストがセラピー・ルームで使うための、バイオエネルギーを作り出すために、私は、同僚と一緒に、キネシオロジー的に、18の異なった物質の混合物内容を検査した。検査の目的は、最適の放射線中和を提供する事と、実習で平均的な放射線にさらされたセラピストのために、バイオエネルギーのサポートを提供する事である。

私達は確かに、標準的な混合物しか作り出していないが、今回、はっきりとした始まりのポイントがある。それは、BICOM装置の周りの放射線フリーのエリアである。

GEOSAFE-Eを用いての、1500程の実例に基づくと、私達は、かなり肯定的な反応が得られている。たった3回、満足がいかなかった場合もあるが、個人に特に適応させた混合物を生産する事によって、対応している。今、このプレゼンテーション中に、より深い説明を提供し、ほぼ99.5%の成功率にもっていきたいと考えている。

多くのBICOMセラピストが、寝る時にGEOSAFE-E(バイオセーフ)を用い、結果として、良く眠れ、朝気分良く起き、小さな体の不調がなくなっている、レギュームドに報告している。私は個人的に、「波長の混合が正しい物だったのだから、これらのセラピスト達は、ラッキーだ」と言う。もし、彼らが寝る場所が、違った放射線混合であったら、また別の比例混合が必要である。そうすると、GEOSAFE-Eは、彼らの役に立たなかったかもしれない。

神に仕えるため、健康を促進し、放射線フリーの場所を作ろう。

推奨本

“Strahlungsfelder” (放射線フィールド) ルイーズ・ワイデル著 (この巻の最後、付録参照)
患者に説明するため、簡単に理解できるスタイルで書かれており、ドイツ語、英語、オランダ語で入手可能。